

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平殿

報告日付: 2017年4月15日
事業ID: 2015327295
事業名: 海洋観光大学瀬戸内
キャンパス
団体名: 海洋観光大学瀬戸内
キャンパス実行委員会
代表者名: 大小田博之
TEL:082-249-7161
FAX:082-240-6030
事業完了日: 2017年3月31日

事業費総額 19,013,261円 (収支計算書に記載する決算額)

自己負担額 3,803,261円

助成金額 15,210,000円 (千円未満は切り捨て)

事業内容: ※事業成果物含む

- 1.次世代教育クルーズ(高松校・広島校) 高松8/2-4・広島①8/3-5広島②8/17-19の各2泊3日
- 2.海洋観光大学瀬戸内キャンパス一次審査・本選 9/16本選
- 3.着地型商品開発プロジェクト 10~3月研究、3月着地型商品販売

1.次世代教育クルーズ(高松校・広島校)

■①事業内容 (高松発)

日時: 平成 28 年 8 月 2 日 (火) ~8 月 4 日 (木) 2 泊 3 日

場所: 岡山県 笠岡諸島 高島 (カーサタケダ・おきな館・デイサービス真名井)

小豆島 (小豆島ふるさと村、オリーブ公園・国民宿舎小豆島)

対象: 香川県・岡山県・愛媛県下 高校生 (参加者 4 名)

「留学生と一緒に SETOUCHI 売り込み戦略を創ろう！」をテーマに瀬戸内海に浮かぶ島をめぐり、五感で感じながらその魅力を情報発信する。

■②事業評価

1.集客と効果目標の達成状況

集客に関しては4名で催行をしたが、参加者は英語を学ぶことも、情報発信をしていくことに対しても非常に意欲が高い生徒が多く、目標として掲げていた情報発信ができる媒体 (インスタグラム・フェイスブック・twitter ※) について深く学ぶことが出来た。

2.事業実施によって得られた成果

2泊3日英語漬けで学んだため、英語を使うことについての意欲やコミュニケーション能力は数多く身に着けられたと思う。また2つ目のテーマである SETOUCHI 売り込み戦略についても、参加した生徒たちが毎晩夜遅くまで留学生たちと企画を練り、高島と小豆島のことを知らない外国の方にも情報発信し、導入段階として興味を持ってもらえるような媒体にできたと思う。

3.成功したこととその要因

内容については昨年度実施したものから、反省点を洗い出し、いい部分を伸ばすような形で進めた。高島の中でのフィールドワークについても、現地の方と事前に打ち合わせをし、地域の方と話をできる時間をしっかりと設け、コミュニケーションを図ることで、情報露出の少ない島の魅力を知ることができたと思う。また小豆島についても、今年実施している瀬戸内国際芸術祭と絡めながら島の良さを発見し、掘り起こすような充実した活動ができた。

4.失敗したこととその要因

何より集客不足の点については反省をしたい。岡山県・香川県に募集範囲を広げて、教育委員会の後援もお願いし、高等学校等に生徒たちへの周知をお願いしたが、企画内容がうまく伝えられず、思った以上に集客に苦戦をした。

要因として、3点。1点目は実施時期について。昨年度同様に8月最初の週半ばで実施をしたが、各高等学校での大学見学ツアーの実施や、オープンキャンパスへの参加等、競合してしまうイベントが多かった。8月第2週であれば、お盆にも絡むため競合イベントも少なく、また生徒たちへの参加にもつながっていったのではないかなと思う。

2点目は告知についてである。いいプログラムということは体験した生徒たちの感想を聞いても十分にわかるが、「行ってみよう」「やってみよう」という好奇心をあおり、申し込みにつなげられなかったのには、パンフレットの作成にも要因がある。より具体的にどんなことをし、何を学ぶことができるのかを分かりやすくアピールすることで、集客につなげるべきであったと思う。

3点目は営業努力の不足である。このプログラムは日本財団様の協力なしには実施ができないということを肝に銘じ、岡山・香川の生徒たちに学習要素の高い語学体験ができるプログラムだということを十分周知し、アピールすべきであったが努力不足は否めないと思う。高松エリアでいうと夏休みに実施される語学研修の準備プログラム、復習プログラムとしての活用やSGH指定の学校へのアピール材料としてももっともっと周知を徹底しなければならないと思った。

次年度も実施するのであれば、最低限この反省点として掲げた3点については改善をし、より良いものを学生たちに提供していきたいと思った。

■③事業レポート

①高松港～瀬戸内海クルーズ～高島

今回の参加者4名とともに1人参加であったため、不安な気持ちを抱えながら高松港へ集合していた。高松港でお迎えしたのは日本人リーダーとサウジアラビア・ベナンからの留学生2名。コミュニケーション能力が日本人より高い外国の方に圧倒されてすぐに4人のまとまりを引き出していたようにも見えた。

高松港からはチャーター船を手配しての瀬戸内海クルージング。小回りの利く小さめの船であったが、船首や操縦席の上に上がったりし、皆、思い思いのクルージングを楽しみながら瀬戸内海の海からの眺めを満喫していた。

途中、瀬戸大橋の下をくぐる際には参加者全員が海からの橋の眺めをカメラに収め、普段見ることのできない体験をした。今回船長さんが瀬戸内海に浮かぶ真鍋島が出身地であったこともあり、昨年度よりも寄り道しながら約2時間のクルーズ。



②高島フィールドワーク・高島での学び

高島に上陸し、午後の時間を使って高島を散策。高島は人口約60人、学校も銀行も商店もない過疎の島である。参加者全員が足を踏み入れたことがないのはもちろん、名前も初めて耳にする瀬戸内海の過疎の島を体験することで、普段便利な生活をしている参加者に違った側面からの瀬戸内海を体験した。

フィールドワークの中で、ご年配の島民が集まるデイサービス施設を訪問した。昨年立寄りしたが、今年は若い高校生が遊びに来てくれると準備を進めていただき、歓迎ムード満載であった。



4名の参加者は2人ずつに分かれて島の人たちから高島の良さや不便な点等熱心にヒアリングをしていた。

夜は高島近海で取れた魚介類をふんだんに使ったバーベキューに舌鼓。外国人留学生と会話を弾ませながら、思い思いの夜を過ごした。

夕食後に高島のまとめを実施。高島の長所・短所をリストアップし、4人で議論を重ねていた。最終日にプレゼンができるような準備ということで、どのような情報媒体で世界に向けてアピールをするのか夜遅くまで議論。

③小豆島フィールドワーク

行程2日目、高島から約2時間のクルーズ船で移動をし、小豆島での活動をスタート。ほぼ自給自足の生活をしている高島とは真逆の、不自由することなく生活できる小豆島の中で、観光地を見ながら学びを深めた。

小豆島は人口約3万人、瀬戸内海では淡路島に次いで2番目の大きさの島で、醤油やそうめんなどの製造業や観光業に従事している人が多い。小豆島自体も観光客を増やしていこうと様々な施策を打ち出している。

参加者はまず小豆島の特産品であるそうめんの箸分け体験を行った。気候の影響からほとんどの製造者は冬場しかそうめんづくりをしないが、ふるさと村内にあるそうめん工場のみが暑い夏場でも製造を行っており、いつもは湯がいて食べるだけのそうめんの製造過程を見学した。その後流しそうめんを体験し、小豆島名物そうめんを五感で味わった。



その後島内の代表的な産業である醤油蔵の見学にヤマロク醤油へ。昔ながらの木桶を使った製法を守り続けている島内唯一の醸造蔵で、醤油のおいしさへのこだわりを学んだ。

見学地最後はオリーブ公園へ。日本の地中海といわれる瀬戸内海で育まれたオリーブの歴史や多くの品種の樹木を見学し、島が誇るオリーブの魅力を体感した。



夕刻より宿舎の会議室にて留学生とともに瀬戸内海の魅力について議論を重ねた。今回3日間で2つの両極端な瀬戸内海の島を訪ねたが、どちらの島にも良さがあり、改善してほしいところも垣間見られた。いかに良さを引き出し、より多くの人に興味を持ってもらうことができるか議論が尽きないが、3日間の成果をまとめるべく、夜遅くまで活動した。

⑤プレゼンテーション・まとめ

3日間で学んだことの総仕上げとして瀬戸内海・SETOUCHI 売り込み戦略を発表した。コメンテーターに小豆島ふるさと村の総支配人森川佳則様をお迎えし、生徒たちが英語で発表をしていった。

高島については、お年寄りばかりだが、昔ながらの生活をしている島民たちは、コミュニケーションをとり助け合って、ほぼ自給自足の生活をしていることに誇りを感じていた。不自由な点もあるが、都会にはないゆっくりとした時間の過ごし方を味わいたい、というような若い人たちにぜひ興味を持ってもらいたいと思っていた。海の美しさや人の温かさは島民たちが誇れる魅力の1つだと思う。



小豆島については、おいしい食べ物も、整備された観光施設もありながら、まだまだ今後のお客様の掘り起こしについて島民が期待している。沖縄のように島を気に入ってもらい、毎年のようにリピーターとして来てくれるお客様、小豆島に来たことのないお客様、外国から日本の良さを感じ

てこられる方に、1泊を島で過ごしてもらおう為の様々な仕掛けが必要であると感じた。

生徒たちは、2つの島とそれぞれが住む地域の観光地やお祭りなどのイベント情報を交えながら、広域の瀬戸内海という視点でまとめ上げて行った。



■①事業内容（広島発）

日程：1班 平成28年8月3日（水）～8月5日（金）
2班 平成28年8月17日（水）～8月19日（金）

場所：山口県周防大島（片添ヶ浜）

対象：広島県・山口県の中高校生（1班19名 2班9名）
日本に留学している世界各国の留学生（1班6名・
2班4名） 総計38名

目的：地域（周防大島）の課題や強みに触れ、体験し、主体的に関わることで、課題発見解決能力を効果的に身に付ける。

プログラム内での共通言語である英語が必要不可欠な便利ツールであることを認識する。
一連の体験活動の中で、当該地域における海の役割について考える。

手法：課題や魅力を教材に課題発見解決能力を育むPBL研修。

世界各国からの留学生を交え、共通言語が英語という環境を創造。



■②事業評価

1.集客と効果目標の達成状況

2日程で60名の募集人数に対し、28名の集客。

広島市又は周辺の中高一貫校・進学校19校の中1～高2年18,000名対象にチラシを準備。内、担当先生と研修価値を共有でき、説明と合わせて先生から案内していただいた学校が4校3,000名。該当校からの申込は19名。参加者間での比率は、該当校から7割の参加であり、集客には先生の理解と協力が不可欠であることが明らかである。2020年の教育改革を控え、当研修内容が徐々に認知されつつあるが、チラシ配布だけでは集客に結びつかない現状の市場では、先生への告知と、理解促進が必要。

2.事業実施によって得られた成果

授業日数や先生のスキル等が原因で学校現場では現状取組が困難であるが、2020年以降の教育改革により取り組まなければならないPBL研修を、グローバル教育に連動させた形で、キャリア教育デザイナーとともに開発できた事は、価値共有できた学校から高い評価をいただいている。参加した生徒からは、次年度以降の継続を熱望され、海外留学への意欲が高まったなど、イベント自体の魅力度や教育効果の高さが感じられる。

3.成功したこととその要因

キャリア教育デザイナーによるトータルコーディネートにより、プログラムの質が昨年に比べ格段に向上し、学校現場の課題に正対できる内容になった。

4.失敗したこととその要因

価値共有できていない学校は、チラシの配布すら出来ていない可能性があり、情報が生徒、保護者へ届いていない。先生への価値提供力をさらに向上する必要がある。

■③事業レポート（2日程共通）

1.船内活動

瀬戸内海汽船の千鳥（高速船）にて、広島港出港。船内にて留学生リーダーによるアイスブレイク。ネームタグにニックネームを書く。自己紹介活動。約90分のクルーズ後、柳井港へ到着。柳井港にて山口県の参加者合流。貸切バスに乗り換え、島スクエアへ移動。

2.オープニングセッション

島スクエアにて、プログラムコーディネーターの大野圭司氏による、プログラム主旨と目標を全

体で共有。また留学生リーダーによる3つの約束、**Speak in English, Don't be shy, Mistakes are OK**を共有。再度、アイスブレイクゲームにて横のつながりを深めた。

3. 日本ハワイ移民資料館

2グループに分かれて、館内見学とビデオ鑑賞のローテーション。館内見学は、ガイドの解説付で、より理解を深められるよう手配。大野氏が生徒に質問を促し、主体的に知識を獲得できるような場の雰囲気を作る。移民=開拓者が、今の島の起業家精神の礎となっていることに気付く。

4. SUP、シーカヤック体験

近隣では屈指のビーチリゾート、片添ヶ浜にて、SUPとシーカヤックを体験。マリナクティビティであり、子供たちは純粋に楽しんでしたが、これも島の魅力であり、研修の中での大きな気付きの1つであることを認識するようリマインドする。

5. ジャムズガーデン松嶋社長によるプレゼントーク

ジャムの6次産業化で大成功をおさめている松嶋社長のビジネスモデルについて、パワーポイントを使いながら社長自らプレゼン。日本語でのプレゼンのため、生徒が留学生リーダーに通訳しサポート。



6. 千鳥グループ山崎社長によるプレゼントーク

山崎社長の生い立ち、波瀾万丈の人生について熱いトーク。人生の転機について、子供目線で話をしていただく。日本語でのトークのため、生徒が留学生リーダーに通訳し、サポート。

7. 島の活性化企画プランニング

宿泊施設すぐ隣の研修館にて、2日間のフィールドワークや体験を振り返り、各施設、各体験の「強み」「課題」「解決策」の観点で意見をまとめる。言語は日英どちらでも可とし、頭の整理とアイデアフラッシュを重視し、グループ内議論を重ねる。各グループが、島での起業を念頭に、どのようなビジネスが成り立つのか、どのようなビジネスが必要なのかについて結論を導く。



8. 島の活性化企画プレゼン

グループ毎に、立案したビジネスについて、プレゼンテーションを実施。iPadのKeyNoteを利用し資料を作成。大野氏のプレゼン講習にて、プレゼンの目的が「人の心を動かすこと」と学び、説明ではなく、感動させる方法を考えながらプレゼン手法を試行錯誤する。プレゼンには、周防大島高校の先生、千鳥グループ山崎社長、ジャムズガーデン松嶋社長等を招待し、留学生リーダーとともに評価者となっていただく。各グループは、全員が発言できるよう役割分担し、それぞれ5~10分程度のプレゼンを実施。評価者はそれぞれ5ポイントずつを持ち分とし、投票。声の大きさ、視線、笑顔、企画内容、感動を観点に採点。

9. 食事について

全ての食事を千鳥グループにて準備いただく。朝食はおにぎりやサンドイッチのケータリング、昼食はお弁当と竜崎温泉の定食、夕食は竜崎温泉の定食とBBQ。キャンプ場ということもあり、BBQは歌や踊りでかなり盛り上がった。周防大島特産、特に千鳥開発のみかん鍋などがあれば良かったとの意見も出ている。

10. 宿泊施設について

片添ヶ浜オートキャンプ場のコテージを利用。アメニティはないが、冷暖房完備、シャワー、キッチン等水回りは清潔で新しく、快適に過ごせた。費用も安く、雰囲気も開放的で、当プログラムには最適の施設といえる。

1 1.その他イベント・工夫・反省

毎朝ラジオ体操を行う。英語とフランス語のものを採用し、興味を喚起。募集チラシや事前説明会、研修室雰囲気では「カフェ」のイメージを作る。BGM や空間演出など、参加者がリラックスして研修できる環境作りを行った。

総括

3日間を通じ、子供たちに気付いて欲しい事を明確に伝えることができた。コーディネーター大野圭司氏からの最後のメッセージ。「世の中の全ての出来事を自分事として捉える」Take it as your own problem。今の子供たちが今後身につけなければならないスキル（問題解決力、英語力）を包括的に訓練できるプログラムに仕上がった。起業家の成功秘話などに、主体性の重要性の気付きも織り交ぜた。

2. 海洋観光大学瀬戸内キャンパス一次審査・本選

(※詳細 研究大会事業報告書別途) ※別添1

主催：海洋観光大学瀬戸内キャンパス実行委員会、日本財団

後援：国土交通省、農林水産省、観光庁、せとうち観光推進機構、大分県、
一般社団法人 日本旅行業協会、公益社団法人 日本観光振興協会 日本観光研究学会、
日本国際観光学会

○目標達成状況

上位9校+海外1校、研究大会についてはその目的を達成した。
高校生エントリー1校（倉敷商業高校）本選参加人数：聴講者256名
エントリー：22大学35チーム 140名
本選参加者：80名
本選関係出席者：20名

○事業成果

実施内容詳細：『発表データ集』にて報告に代えさせていただきます。 ※別添2
また、研究会のホームページでも、開催のレポートを掲載しておりますので、ご参照ください。
海洋観光大学ホームページ：<http://setouchi-campus.jp/study>

○成功や失敗の要因

海洋観光大学2年目の開催は、前年の17チームから35チームとエントリー数が倍増、決定を3月にしていただいたことで参加校からの横断的な紹介や、昨年度実績をホームページで掲載できたこともあり、説明会以降順調に進行できた。昨年同様、本選当日は大学の夏休み期間中ということもあり、聴講者の人員を懸念していたが、開催大学の協力にて、当日に見学会を開催、入学を目指す高校生の見学を確保出来た。本年度は本選に漏れたエントリーチームのパネルセッションも開催、学生同士の議論の場を昨年の反省をもとに確保した。



○新聞記事・WEB広報掲載

9/19 朝日新聞 朝刊
6/4 朝日新聞 朝刊
6/11 朝日小学生新聞 同一再掲 (6/4)
10/9 山陽新聞 朝刊
10/24 広島県立大学HP

広島

心の中心

広島県教育委員会
広島県立高等学校
広島県立高等学校
広島県立高等学校

ひと

広島県楽しい100人運営委員
柴崎 沙さん (47)



「広島県楽しい100人」の運営委員を務める柴崎沙さん。広島県民の生活に寄り添い、県民の笑顔を増やすために活動している。

合唱コンクール

Hiroshima Kantorei 全国へ

安田女子中など金



中国大会初出場で全国大会への出場を決めたKantorei for "Hiroshima Kantorei"＝路山市北區町1丁目

中国大会初出場で全国大会への出場を決めたKantorei for "Hiroshima Kantorei"＝路山市北區町1丁目

「結成3年目 大舞台に挑む」
Kantorei for "Hiroshima Kantorei"は、結成3年目を迎える。今年度は、中国大会初出場を果たし、全国大会への出場を決めた。

「瀬戸内は学びの場」
瀬戸内海は、学びの場。多くの学生が、ここで学び、成長している。

「22人立候補予定」
22人が立候補予定。選挙活動が盛況である。

「雨で1試合延期」
雨で1試合延期。試合は中止となった。

広島県教育委員会
広島県立高等学校
広島県立高等学校

「雨で1試合延期」
雨で1試合延期。試合は中止となった。

「22人立候補予定」
22人が立候補予定。選挙活動が盛況である。

「瀬戸内は学びの場」
瀬戸内海は、学びの場。多くの学生が、ここで学び、成長している。

おなか側が見える
なまこ

さかなう
さかなう

海とふれあう、感じる、なまこになる。

SETOUCHI世代教育プログラム「三島(日本海・瀬戸内海・太平洋)各府県別」各府県別
海を楽しみ、海を学ぶ。小学生を対象にした体験型旅行
延床日 7/24日・25日 1泊2日体験ツアー モニタープラン

※体験型ツアーの長編で、それぞれの地域の特色を生かした海を楽しみ、海を学ぶプログラムと実施しています。

※体験型ツアーの長編で、それぞれの地域の特色を生かした海を楽しみ、海を学ぶプログラムと実施しています。

倉敷商高生が優秀賞

倉敷商高生が優秀賞。優秀な作品を発表した。

赤い羽根に樋口さん

赤い羽根に樋口さん。優秀な作品を発表した。

重井薬用植物園の四季

重井薬用植物園の四季。美しい景色を堪能できる。

瀬戸内海テーマの旅行提案

瀬戸内海テーマの旅行提案。美しい景色を堪能できる。

赤い羽根の根

赤い羽根の根。美しい景色を堪能できる。

赤野住宅工房

赤野住宅工房。美しい景色を堪能できる。

3. 着地型商品開発プロジェクト

1. 目標達成状況

研究大会優秀賞チーム着地型商品化プログラム

- ・香川大学 きぬまる 東かがわ市との協業にて着地型商品販売【ここせと】
- ・倉敷商業高校 倉商AAA 11/19日にモニターツアー実施後、着地型商品販売【ここせと】
- ・東洋大学 島川ゼミナール新観光まちづくりチーム 姫路市公募の移住ツアーへ採択(3/4～5・3/11～12)

・着地型商品販売サイトにて造成、販売

ここから、瀬戸内ホームページ：http://www.enjoy-setouchi.jp

【最優秀賞】チーム：きぬまる(香川大学)

船で行く！東かがわジオサイトツアー

～柱状節理から1,400万年の時と大地の流れを感じよう！～

特集ページ：

The screenshot displays the COCO.SETO website's main page for the 'Education Travel Research Conference'. The header includes the COCO.SETO logo and navigation links. The main banner features a scenic landscape with the text '教育旅行研究大会' and a sub-header '～優秀賞3作品を元に現地プランを商品化しました～'. Below the banner, there are several sections: '大会ダイジェスト' (Conference Digest) with photos of the event, '商品開発ウォー' (Product Development War) with details about the '東かがわエリア' (Tokagawa Area) and '瀬戸内ジオサイト10選' (10 Selected Setouchi Geosites), and '着地旅行プラン化した上位入賞作品をエリア別' (Top Award-winning Travel Plans Categorized by Area). The bottom part of the page shows a navigation bar with '東かがわエリア', '家島エリア', and '児島'.

「ここから、瀬戸内」内商品ページ：
親子で学ぼう！東かがわジオサイトクルーズ【ここせと】

JTBホーム > 現地観光プラン・レジャーチケット・定期観光バス > 四国 > 香川県 > さぬき・東かがわ > 親子で学ぼう！東かがわジオサイトクルーズ【ここせと】

親子で学ぼう！東かがわジオサイトクルーズ【ここせと】

四国・香川県・さぬき・東かがわ プランNo.1047173

事前払い 子供参加可

[ツイート](#) [いいね！ 0](#) [チェック](#) [G+1](#) [0](#)

旅行代金・料金	小学生以上:4,300円
スケジュール	詳細を見る
申込締切	7日前 23:59 まで
集合場所	香川県東かがわ市 地図サイトを見る

■ ■ ■ 自然と人間の時空間スケールの違いを体感 ■ ■ ■

海上からしか見ることができない絹島柱状節理(国の天然記念物)や「龍神様の伝説」が残る丸亀島を地元漁師の奥さんのマリンガイドで巡りましょう！※定員に達し次第お申込みを終了します。

《事前準備》

必ず必要なもの

- 濡れても良い服、靴
- タオル
- 飲み物

あると便利なもの

- 日焼け止め
- 帽子(風で飛ばされないよう各自対策ください)
- 濡れたものを入れる袋



■ ■ ■ 自然と人間の時空間スケールの違いを体感 ■ ■ ■

海上からしか見ることができない絹島柱状節理(国の天然記念物)や「龍神様の伝説」が残る丸亀島を地元漁師の奥さんのマリンガイドで巡りましょう！

《事前準備》

必ず必要なもの

濡れても良い服、靴 ・タオル ・飲み物

あると便利なもの

日焼け止め ・帽子(風で飛ばされないよう各自対策ください) ・濡れたものを入れる袋

■ ■ ■ 補足事項 ■ ■ ■

※着替え場所、シャワールームのご用意はございません。

※当日の天候により、やむを得ず催行が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※服装は水にぬれても良いものでお越しく下さい。

※季節から熱中症対策は、飲料水等各自でご用意願います。

※携帯電話、カメラ、帽子等は風に飛ばされますので各自対策をお願いいたします。

収支計算書
(2016年4月1日から 2017年3月31日まで)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	受入済額 (C)	返還額 (D = A - C)	備考
日本財団助成金収入	18,328,000	15,210,000	15,210,000	3,118,000	
自己負担	4,582,000	3,803,261	3,803,261	0	
収入合計	22,910,000	19,013,261	19,013,261	0	

支出の部

科目	予算額	決算額	支出済額	未払額	備考
人件費	1,800,000	1,627,000	1,627,000	0	
旅費交通費	2,100,000	2,205,434	2,205,434	0	
諸謝金	500,000	314,230	314,230	0	
印刷製本費	1,700,000	1,072,374	1,072,374	0	
消耗什器美本経費	500,000	760,219	760,219	0	
商品化経費	500,000	95,700	95,700	0	
WEB 構築・広報運営	3,000,000	1,695,060	1,695,060	0	
大会運営費	2,600,000	2,691,368	2,691,368	0	
通信費	150,000	148,250	148,250	0	
営業管理費	1,500,000	1,780,240	1,780,240	0	
次世代教育クルーズ	8,560,000	6,623,386	6,623,386	0	
支出合計	22,910,000	19,013,261	19,013,261	0	